

現代アメリカ大学院の評価研究

「教授陣の質」と「大学院教育の有効性」の指標による分析結果（その4）

— 人文科学系領域の場合 —

奥 川 義 尚

〈Summary〉

In this study, I assessed and ranked in the Field of the Humanities of American Graduate Schools using “Data-Based Assessment of Research-Doctorate Programs in the United States” published by National Academy Press in 2010.

When we scrutinized the data using the Index of the Scholarly Quality of Program Faculty, Massachusetts Institute of Technology ranked 1st, University of Chicago ranked 2nd, Harvard university ranked 3rd, New York University ranked 4th, University of Rochester ranked 5th and also scrutinized the data using the Index of the Effectiveness of the Program in Educating Research Scholars/Scientists, Massachusetts Institute of Technology ranked 1st, University of California-Berkeley ranked 2nd, Clark University ranked 3rd, Harvard University ranked 4th, Brandeis University ranked 5th.

I. は じ め に

今日、生涯にわたって学び続ける力や主体的に考える力を身につけた人材育成の必要性が大学教育に求められているが、このような人材育成のためには従来のような知識伝達・注入を中心とした授業から、教員と学生が意志疎通を図りつつ切磋琢磨し、相互に刺激を与えながら知的に成長する場を創り、学生が主体的に問題を発見し正解を見出していく能動的学修（アクティブ・ラーニング）への転換が大学教育に必要である。すなわち個々の学生の認知的、論理的、社会的能力を引き出し、それを鍛えるディスカッションやディベートといった双方向の講義、演習、実験、実習、実技などを中心とした授業の展開による、学生の主体的な学修を促す質の高い学士課程教育が求められている。このような状況のもと 2012 年 8 月に出された中央教育審議会答申『新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて ― 生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ ―』¹⁾では、学生の学習の質・量の充実の観点から、教授方法や学習支援の在り方などについての提案を行っている。具体的な内容としては、①全学ディプロマ・ポリシーとアセスメント・ポリシーに基づく教学マネジメントの必要性、②大学教育の質の指標としての学修時間（学修時間の増加・確保を始点として、学生の主体的な学びを確立することの必要性）、③高等教育における単位制度再考（e-ラーニングを利用した自学自習や授業時間内での自習時間の確保など）、④学習成果につながるアクティブ・ラーニング（学修成果をあげるための時間を

増やし、アクティブ・ラーニングの実施やシラバスの充実を図る必要性)など、変化の激しいグローバル社会では答えのでない問題に取り組むための思考力や教養の育成の必要性を強調している。このような答申がだされたのは、日本の高等教育のユニバーサル段階において学士課程教育の質の保証を担保するための大学評価が強く求められるようになってきているからに他ならない。

一方、アメリカにおける大学評価は、早くも 19 世紀前半からさまざまな組織や団体によって、それぞれの観点から大学の質的分类や評価が行われるようになったが、1925 年に公表されたヒューズの研究は²⁾、大学評価の本格的な試みといっていよう。アメリカ教育審議会の委託を受けてカーターがまとめたレポート(1966 年)は³⁾、当時 106 校にあった 29 課程にわたる 1,663 の専門課程を、(1) 大学院教育の有効性と(2) 大学院に所属する教授陣の質の 2 点から評価したものである。その後、同じ教育審議会の委託によりカーターとはほぼ同一の方法を用いて、大学院教育を評価したルースとアンダーソンのレポート(1970 年)⁴⁾や専門大学院における職業専門教育を評価したマグリースとプラスのレポート(1973 年)⁵⁾など、いくつもの継続研究が行われ、1982 年には研究協議会連合理事会の委託を受けて 1980 年に発足した全米大学院教育質の評価委員会が実施した『アメリカにおける研究博士プログラム評価』⁶⁾が刊行された。1995 年には『アメリカにおける研究博士プログラム - 連続性と変容』⁷⁾が刊行された。これらの統計的データの再解析による評価や、両資料を使用した時系的評価⁸⁾は先行研究として実施されている。

また 2010 年に刊行された『アメリカにおける研究博士プログラムのデータベース評価』(Jeremiah P. Ostriker, Charlotte V. Kuh, and James A. Voytuk (eds.). A Data- Based Assessment of Research-doctorate Programs in the United States, National Academy Press. (2010)) も、1980 年調査及び 1995 年調査の継続研究として、同じ研究協議会連合理事会が大学評価の主体となって計画し、その委託を受けて、新たに設置された全米研究博士プログラム研究委員会が 2005 年、2006 年に実施した評価研究である。この 2010 年度調査では、221 の大学及び連合大学に設置されている 59 の専門分野、計 4,838 の研究博士プログラムが評価の対象になっている。評価対象のプログラム数は 1995 年調査よりも 33% 以上多い。また約 10 万 4 千人以上の大学教員がこれらのプログラムに所属しており、それゆえにこの調査は、文理系の Ph.D. 学位を授与する全米の研究博士プログラムをほぼ網羅しているといえる。

本稿では、2010 年に刊行された『アメリカにおける研究博士プログラムのデータベース評価』の資料の統計的データの再解析により、現代アメリカ大学院の人文科学系領域を「教授陣の質」と「大学院教育の有効性」の指標を使用して評価分析を試みた。

II. 使用した資料の説明

本稿で使用したデータである『アメリカにおける研究博士プログラムのデータベース評価』では、比較的優秀な大学院教育を行っている 221 の大学及び連合大学の 6 領域、59 の専門分野、計 4,838 の専門課程の研究博士プログラムについての評価をまとめている。評価の対象となった

59 の専門分野のなかには、農業科学系では、畜産学、昆虫学、食品科学、森林・森林科学、栄養学、植物学の 6 分野、生物学・健康科学系では、生化学・実物生理学・構造生物学、生物学・統合生物学・統合生医科学、細胞・発生生物学、生態学・生物進化論、遺伝学・ジェノミクス、免疫学・伝染病学、運動学、細菌学、神経科学・神経生物学、看護学、薬理学・毒物学・環境健康学、生理学、公衆衛生学の 13 分野、工学系では、航空宇宙工学、生物医学工学・生物工学、化学工学、基盤・環境工学、コンピュータ工学、電気・コンピュータ工学、材料・工学科学、工学・材料科学、機械工学、オペレーションズリサーチ・システム工学・産業工学の 10 分野、人文科学系では、アメリカ研究、古典学、比較文学、英語・英文学、仏語・仏文学、独語・独文学、歴史学、美術史・建築学・考古学、言語・社会・文化、音楽学、哲学、宗教学、西／葡語・西／葡文学、演劇・演技研究の 14 分野、物理学・数学系では、応用科学、天文学・天文学、化学、コンピュータ科学、地球科学、数学、海洋学・気象科学・気象学物理学、物理学、統計学・確率学の 9 分野、社会・行動科学系では、農学・人的資源経済学、人類学、コミュニケーション論、経済学、地理学、言語学、政治学、心理学、パブリックアフェアーズ・公共政策・公共行政、社会学の 10 分野が、それぞれ含まれる。ただし、この評価ではコンピュータ工学、材料・工学科学、言語・社会・文化の 3 分野はランキング評価の対象とはなっていない。この資料は 10 のカテゴリーに分類され、それらは一般的情報、Regression-based Rankings（重回帰分析ランキング）、Survey-based Rankings（調査ランキング）、Dimensional Rankings（複合ランキング）、研究活動、学生支援・成果、多様性、他の全般的なランキング尺度、ランキングに使用されていないデータ、学生生活などとなっている。

なお評価指標は、調査対象になった大学教授陣の研究能力を示す「教授陣の質」⁹⁾の指標群、また各専門分野の「大学院生の特質」¹⁰⁾を示す指標群、プログラムの特質などの「大学院教育の有効性」¹¹⁾を示す指標群など、いずれも 7 指標によって構成されている。

Ⅲ. 使用した指標の説明

本稿は、これらの指標のうち次の 2 つの指標をとりあげた。まず大学院の研究生産性をとらえる指標として「教授陣の質」を、また大学院の教育生産性をとらえる指標として「大学院教育の有効性」を使用した。なお各指標の説明は次の通りである。

①「教授陣の質」－この指標は、i. 教授 1 人当たりの著書の数、ii. 論文引用数（人文科学系を除く）、iii. 外部資金を獲得した教授陣の割合、iv. 学際的研究への関与、v. 教授陣の人種的・民族的多様性、vi. 教授陣の男女比率、vii. 学術的褒賞や名声による教授陣の評価の 7 指標を、評定者が 6 段階評価した結果を重回帰分析して算出された上位 5% のランキングを標準化して得た数値である。

②「大学院教育の有効性」－この指標は、i. 過去 5 年間の博士号取得者の平均人数、ii. 期間内に博士課程を修了した学生数（人文科学系以外は 6 年、人文科学系は 8 年）、iii. 学位取得

年数, iv. 修了後の就職（アカデミックな分野での就職または博士課程取得後の特別奨学金受給者）, v. 個人研究室のある学生の割合, vi. 大学等による健康保険料受給者の割合, vii. 大学等による学生支援受給者数の7指標を、評定者が6段階評価した結果を重回帰分析して算出された上位5%のランキングを標準化して得た数値である。

IV. 「教授陣の質」と「大学院教育の有効性」の指標による評価結果

表1は、研究能力を示す評価指標である「教授陣の質」を使用して人文科学系領域の分析結果をまとめたものである。表1からあきらかな様にマサチューセッツ工科大学が第1位にランクされている。それに続きシカゴ大学、ハーバード大学、ニューヨーク大学、ローチェスター大学、カーネギー・メロン大学、ペンシルベニア大学、プリンストン大学、ベイラー医科大学（ヒューストン校）、コロンビア大学（ニューヨーク・シティ校）、デューク大学、ノートルダム大学、カリフォルニア大学（パークリー校）、スタンフォード大学、ニューヨーク市立大学（グラント・センター校）イエール大学、ブランダイズ大学、ブラウン大学、カリフォルニア大学（サンタ・クルス校）、コネール大学の順で上位20校が序列化されている。なおベイラー医科大学（ヒューストン校）は宗教学のみで、上位にランクされている。また専門分野ごとにみるとアメリカ研究、英語・英文学の分野ではハーバード大学が、古典学、美術史の分野ではコロンビア大学（ニューヨーク・シティ校）が、比較文学、独語・独文学、歴史学、音楽学、宗教学の分野ではシカゴ大学が、仏語・仏文学の分野ではペンシルベニア大学とスタンフォード大学が、哲学の分野ではプリンストン大学が、西／葡語・西／葡文学の分野ではスタンフォード大学が、演劇・演技研究の分野ではニューヨーク大学が、それぞれ第1位を占めている。

表1. 「教授陣の質」の指標による評価結果

順位	大学名	分野別得点													平均得点
		アメリカ研究	古典学	比較文学	英語・英文学	仏語・仏文学	独語・独文学	歴史学	美術学	音楽学	哲学	宗教学	西／葡語 西／葡文学	演劇・演技研究	
1	マサチューセッツ工科大学	—	—	—	—	—	—	—	63	—	63	—	—	—	63.2
2	シカゴ大学	—	61	64	60	60	64	66	63	64	64	64	—	—	63.0
3	ハーバード大学	64	60	60	65	61	62	61	61	63	60	60	—	—	61.6
4	ニューヨーク大学	63	—	58	62	57	62	62	61	62	62	—	61	66	61.5
5	ローチェスター大学	—	—	—	63	—	—	63	—	59	60	—	—	—	61.3
6	カーネギー・メロン大学	—	—	—	63	—	—	58	—	—	63	—	—	—	61.1
7	ペンシルバニア大学	—	49	63	63	64	—	65	62	56	61	61	58	—	60.3
8	プリンストン大学	—	55	63	64	55	50	65	58	63	65	63	57	—	59.8
9	ベイラー医科大学（ヒューストン校）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	60	—	—	59.6
10	コロンビア大学（ニューヨーク・シティ校）	—	64	—	63	60	62	62	64	61	64	33	61	—	59.4
11	デューク大学	—	62	54	59	63	56	58	63	58	61	63	53	—	59.1
12	ノートルダム大学	—	—	—	55	—	—	61	—	—	58	60	—	—	58.5
13	カリフォルニア大学（バークリー校）	—	58	62	52	51	62	59	62	58	64	—	61	50	58.1
14	スタンフォード大学	—	63	62	64	64	59	63	41	43	64	51	64	59	58.1
15	ニューヨーク市立大学（グラント・センター校）	—	—	63	63	52	—	61	59	48	48	—	60	65	57.7

16	イエール大学	63	41	63	63	58	50	62	59	56	47	60	63	61	57.2
17	ブランダイズ大学	-	-	-	61	-	-	56	-	54	-	-	-	-	57.1
18	ブラウン大学	56	56	61	49	39	-	63	57	61	59	60	63	-	56.7
19	カリフォルニア大学 (サンタ・クルス校)	-	-	53	-	-	-	59	-	-	-	-	-	-	55.9
20	コーネル大学	-	56	50	51	55	60	51	55	58	56	-	61	-	55.2
21	バンダービルト大学	-	-	-	57	63	-	50	-	-	58	41	62	-	55.2
22	ジョンズ・ホプキンズ大学	-	44	53	63	56	47	62	60	-	55	-	-	-	55.0
23	コネチカット大学	-	-	-	62	63	-	49	-	-	47	-	54	-	55.0
24	ラトガーズ州立大学 (ニュー・ブランズウィック校)	-	-	55	57	49	-	62	54	53	64	-	43	-	54.7
25	シンシナティ大学 (メイン・キャンパス校)	-	62	-	51	-	-	57	-	-	48	-	-	-	54.5
26	ベイラー大学	-	-	-	54	-	-	-	-	-	-	-	-	-	54.3
27	ケンタッキー大学	-	-	-	58	-	-	60	-	48	43	-	62	-	54.2
28	タフツ大学	-	-	-	43	-	-	54	-	-	-	-	-	65	54.0
29	メンヒス大学	-	-	-	43	-	-	55	-	61	57	-	-	-	54.0
30	ケーズ・ウェスタン・リザーブ大学	-	-	-	53	-	-	51	57	-	-	-	-	-	53.9
31	カリフォルニア大学 (ロサンゼルス校)	-	57	40	54	57	51	58	57	59	47	-	53	58	53.9
32	ミシガン大学 (アンアバー校)	54	53	42	63	49	52	59	48	50	64	-	55	-	53.5
33	ニュー・ハンプシャー大学	-	-	-	52	-	-	55	-	-	-	-	-	-	53.5
34	ジョージタウン大学	-	-	-	-	-	48	54	-	-	57	-	54	-	53.4
35	ノース・ウェスタン大学	-	-	46	56	60	-	53	-	59	-	-	-	45	53.1
36	ペンシルバニア州立大学	-	-	52	61	44	56	54	37	-	58	-	57	-	52.4
37	ドリュエ大学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	52	-	-	52.3
38	ボストン大学	54	-	-	56	54	-	48	50	44	45	60	60	-	52.2
39	サウス・フロリダ大学	-	-	-	47	-	-	-	-	-	57	-	-	-	52.1
40	ノース・カロライナ大学 (チャペル・ヒル校)	-	51	48	53	41	59	63	53	58	54	63	31	-	52.0
41	ウィリアム・メアリーカレッジ	63	-	-	-	-	-	41	-	-	-	-	-	-	51.8
42	カリフォルニア大学 (アービン校)	-	-	44	54	50	-	57	-	-	46	-	61	-	51.8
43	バーデュー大学 (メイン・キャンパス校)	54	-	61	55	-	-	44	-	-	53	-	42	-	51.6
44	南メソディスト大学	-	-	-	-	-	-	48	-	-	-	55	-	-	51.6
45	カリフォルニア大学 (サンタ・バーバラ校)	-	-	42	61	-	-	65	49	42	48	45	54	59	51.5
46	ノース・イースタン大学	-	-	-	50	-	-	44	58	-	-	-	-	-	50.8
47	カリフォルニア大学 (サン・ディエゴ校)	-	-	33	-	-	-	48	-	61	61	-	-	-	50.8
48	ウィスコンシン大学 (マディソン校)	-	42	49	62	53	50	58	45	51	61	-	33	54	50.8
49	マイアミ大学 (MU)	-	-	-	38	-	-	64	-	-	-	-	-	-	50.7
50	フロリダ国際大学	-	-	-	-	-	-	44	-	-	-	-	56	-	50.2
51	ミシシッピ大学	-	-	-	57	-	-	43	-	-	-	-	-	-	49.9
52	エモリ大学	-	-	61	54	55	-	55	40	-	46	58	30	-	49.9
53	バージニア大学	-	-	-	58	42	51	49	47	-	46	48	58	-	49.9
54	ジョージア大学	-	-	61	48	-	-	63	40	-	38	-	-	50	49.8
55	プリンマーカレッジ	-	57	-	-	-	-	-	42	-	-	-	-	-	49.7
56	テンブル大学	-	-	-	54	-	-	42	56	51	55	50	38	-	49.4
57	ピッツバーグ大学 (ピッツバーグ・キャンパス校)	-	-	-	36	41	-	54	56	47	54	-	58	-	49.4
58	ミネソタ大学 (ツイン・シティズ校)	54	46	51	43	30	62	49	59	58	46	-	46	49	49.3
59	ハワイ大学 (マノア校)	-	-	-	45	-	-	48	-	42	62	-	-	47	49.1
60	ハーワード大学	-	-	-	-	-	-	49	-	-	-	-	-	-	49.0
61	テキサス大学 (オースチン校)	38	54	36	56	32	43	41	58	51	60	-	57	58	48.6
62	ミズーリ大学 (カンザスシティ校)	-	-	-	61	-	-	-	36	-	-	-	-	-	48.6
63	ヒューストン大学	-	-	-	47	-	-	-	-	-	-	-	50	-	48.5
64	ルイジアナ州立大学農業・工業カレッジ	-	-	60	53	58	-	33	-	50	-	-	-	37	48.4
65	ニューヨーク州立大学 (ビンガムトン校)	-	-	55	40	-	-	60	39	-	48	-	-	-	48.2
66	ワシントン州立大学	56	-	-	58	-	-	31	-	-	-	-	-	-	48.2
67	ワシントン大学 (セントルイス校)	-	-	37	44	63	57	42	51	38	54	-	46	-	48.1
68	テキサス大学 (ダラス校)	-	-	-	-	-	-	48	48	-	-	-	-	-	48.0
69	マルケット大学	-	-	-	56	-	-	46	-	-	38	51	-	-	48.0
70	フロリダ大学	-	-	-	44	40	-	56	-	-	56	-	43	-	47.9
71	アリゾナ州立大学	-	-	-	48	-	-	45	-	-	-	-	50	-	47.7
72	ウェスタン・ミシガン大学	-	-	-	53	-	-	42	-	-	-	-	-	-	47.7
73	シラキュース大学 (メイン・キャンパス校)	-	-	-	41	-	-	46	-	-	46	58	-	-	47.7
74	オーバーン大学	-	-	-	53	-	-	43	-	-	-	-	-	-	47.6
75	ライス大学	-	-	-	48	29	-	63	-	-	57	39	-	-	47.3
76	アリゾナ大学	-	-	-	54	-	-	54	-	37	56	-	35	-	47.3
77	アーカンサス大学 (メイン・キャンパス校)	-	-	-	53	-	-	59	-	-	30	-	-	-	47.2
78	メリーランド大学 (カレッジ・パーク校)	47	-	56	53	52	42	45	53	39	50	-	41	39	46.9
79	アイダホ大学	54	-	-	-	-	-	40	-	-	-	-	-	-	46.9
80	カリフォルニア大学 (リバーサイド校)	-	-	33	58	-	-	52	-	-	56	-	50	31	46.8
81	ユタ大学	-	-	-	54	-	-	47	-	42	43	-	-	-	46.7
82	カリフォルニア連合大学	-	35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	58	46.5
83	南カリフォルニア大学	-	36	33	56	-	-	52	50	54	45	-	-	-	46.4
84	インディアナ大学 (ブルーミントン校)	44	39	48	59	42	59	50	36	53	41	49	38	-	46.4

85	ワシントン大学	-	28	36	44	-	48	60	54	54	34	-	-	59	46.3
86	ボストンカレッジ	-	-	-	60	35	-	41	-	-	57	47	37	-	46.3
87	クラーク大学	-	-	-	-	-	-	46	-	-	-	-	-	-	46.2
88	ウェイン大学	-	-	-	50	-	-	54	-	-	34	-	-	-	46.2
89	カリフォルニア大学（デービス校）	-	-	37	42	34	-	50	-	58	40	-	63	46	46.2
90	ニューヨーク州立大学（ブルックリン健康科学センター）	-	-	-	-	-	-	32	-	-	60	-	-	-	46.2
91	コロラド大学（ボルダー校）	-	-	36	45	50	-	58	-	-	59	-	45	30	46.1
92	ジョージア工科大学	-	-	-	-	-	-	46	-	-	-	-	-	-	45.6
93	ロヨラ大学（シカゴ校）	-	-	-	43	-	-	54	-	-	52	33	-	-	45.6
94	オハイオ州立大学（メイン・キャンパス校）	-	46	-	43	46	-	56	42	37	34	-	52	54	45.4
95	ニューヨーク州立大学（ストーニー・ブルック校）	-	-	38	39	-	-	-	52	42	-	-	55	-	45.3
96	ミシシッピ州立大学	-	-	-	-	-	-	45	-	-	-	-	-	-	45.0
97	ニューヨーク州立大学（オールバニー校）	-	-	-	56	-	-	31	-	-	44	-	48	-	44.9
98	イリノイ大学（アーバナシャンペイン校）	-	-	52	46	-	38	56	37	54	36	-	41	-	44.8
99	カンザス大学	35	-	-	50	-	30	55	47	-	50	-	53	39	44.8
100	南イリノイ大学（カーボンデール校）	-	-	-	32	-	-	56	-	-	46	-	-	-	44.7
101	ノーザン・イリノイ大学	-	-	-	49	-	-	41	-	-	-	-	-	-	44.7
102	オクラホマ大学（ノーマン校）	-	-	-	48	-	-	51	-	-	31	-	49	-	44.6
103	ネブラスカ大学（リンカーン校）	-	-	-	55	-	-	48	-	-	29	-	-	-	44.2
104	フロリダ州立大学	-	-	-	63	-	-	39	-	40	44	44	33	-	44.1
105	サウス・カロライナ大学（コロンビア校）	-	-	43	42	-	-	45	-	-	45	-	-	-	43.8
106	ボーリング・グリーン州立大学	47	-	-	-	-	-	42	-	-	45	-	-	41	43.7
107	マサチューセッツ大学（アムハースト校）	54	-	53	44	-	32	39	-	-	40	-	43	-	43.6
108	クレアモント大学院大学	-	-	-	62	-	-	40	-	-	30	42	-	-	43.4
109	イリノイ大学（シカゴ校）	-	-	-	63	52	28	41	-	-	37	-	39	-	43.3
110	テキサス農業・工業大学	-	-	-	39	-	-	48	-	-	-	-	-	-	43.3
111	ジョージ・ワシントン大学	44	-	-	37	-	-	49	-	-	-	-	-	-	43.2
112	デラウェア大学	-	-	-	43	-	-	40	47	-	-	-	-	-	43.1
113	バージニア・コモンウェルス大学	-	-	-	-	-	-	43	-	-	-	-	-	-	42.9
114	ニューヨーク州立大学（バッファロー校）	54	36	59	41	-	-	41	-	33	43	-	33	-	42.6
115	アメリカン・カトリック大学	-	-	-	36	-	-	41	-	35	52	50	-	-	42.6
116	オレゴン大学	-	-	41	37	-	-	49	-	43	44	-	-	42	42.5
117	ノース・テキサス大学	-	-	-	44	-	-	29	-	52	-	-	-	-	41.8
118	テキサス工科大学	-	-	-	30	-	-	-	-	-	-	-	53	-	41.7
119	テネシー大学	-	-	-	38	-	-	46	-	-	35	-	47	-	41.6
120	ミシガン州立大学	45	-	-	37	-	-	37	-	49	43	-	37	-	41.4
121	ツーレイン大学	-	-	-	-	-	-	41	-	-	36	-	47	-	41.3
122	アイオワ大学	29	33	40	58	43	-	43	45	32	38	34	58	-	41.2
123	アラバマ大学（メイン・キャンパス校）	-	-	-	45	-	-	38	-	-	-	-	-	-	41.2
124	ダラス大学	-	-	-	32	-	-	-	-	-	49	-	-	-	40.6
125	カンザス州立大学	-	-	-	-	-	-	40	-	-	-	-	-	-	39.7
126	ジョージア州立大学	-	-	-	46	-	-	33	-	-	-	-	-	-	39.6
127	ノース・ダコタ大学（メイン・キャンパス校）	-	-	-	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	39.5
128	ルイジアナ大学（ラファイエット校）	-	-	-	32	46	-	-	-	-	-	-	-	-	39.2
129	マイアミ大学（UM）	-	-	-	32	-	-	39	-	32	59	-	34	-	39.2
130	ミズーリ大学（コロンビア校）	-	41	-	40	-	-	37	34	-	35	-	-	47	39.0
131	ウィスコンシン大学（ミルウォーキー校）	-	-	-	39	-	-	-	38	-	-	-	-	-	38.3
132	リーハイ大学	-	-	-	35	-	-	41	-	-	-	-	-	-	38.0
133	イリノイ工科大学	-	-	-	-	-	-	38	-	-	-	-	-	-	38.0
134	フォードハム大学	-	-	-	30	-	-	42	-	-	38	41	-	-	37.6
135	ニュー・メキシコ大学（メイン・キャンパス校）	29	-	-	33	-	-	55	31	-	-	-	38	-	37.2
136	神学連合大学院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37	-	-	36.7
137	ケント州立大学（メイン・キャンパス校）	-	-	-	42	-	-	-	-	31	-	-	-	-	36.6
138	アイオワ州立大学	-	-	-	-	-	-	37	-	-	-	-	-	-	36.5
139	オハイオ大学（メイン・キャンパス校）	-	-	-	29	-	52	27	-	-	-	-	-	-	36.2
140	オクラホマ州立大学（メイン・キャンパス校）	-	-	-	38	-	-	34	-	-	-	-	-	-	36.1
141	フロリダ・アトランティック大学	-	-	-	-	-	-	-	36	-	-	-	-	-	35.5
142	トレド大学	-	-	-	-	-	-	35	-	-	-	-	-	-	34.6
143	アメリカン大学	-	-	-	-	-	-	34	-	-	-	-	-	-	34.3
144	サザン・ミシシッピ大学	-	-	-	38	-	-	31	-	-	-	-	-	-	34.2
145	ネバダ大学（リノ校）	-	-	-	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.2
146	ヒューブルーユニオンカレッジ・ユダヤ教研究所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33	-	-	33.0
147	ルイスビル大学	-	-	-	-	-	-	-	31	-	-	-	-	-	30.6
148	テキサス・クリスチャン大学	-	-	-	33	-	-	27	-	-	-	-	-	-	29.9

表2は、教育能力を示す評価指標である「大学院教育の有効性」を使用して人文科学系領域の分析結果をまとめたものである。表2からあかきらかな様にマサチューセッツ工科大学が第1位

にランクされている。それに続きカリフォルニア大学（バークリー校）、クラーク大学、ハーバード大学、ブランダイズ大学、イエール大学、プリンストン大学、コロンビア大学（ニューヨーク・シティ校）、ペンシルベニア州立大学、エモリ大学、スタンフォード大学、ブラウン大学、ノートルダム大学、シカゴ大学、カリフォルニア大学（ロサンゼルス校）、ピッツバーグ大学（ピッツバーグ・キャンパス校）、コーネル大学、ノース・ウエスタン大学、デラウェア大学、ペンシルベニア大学の順で上位 20 校が序列化されている。なおクラーク大学は歴史学の分野のみで上位にランクされている。また専門分野ごとにみるとアメリカ研究、音楽学の分野ではハーバード大学が、古典学、独語・独文学、西／葡語・西／葡文学の分野ではカリフォルニア大学（バークリー校）が、比較文学、宗教学、演劇・演技研究の分野ではスタンフォード大学が、英語・英文学、仏語・仏文学、哲学の分野ではプリンストン大学が、歴史学、美術史の分野ではイエール大学が、それぞれ第 1 位を占めている。

表 2. 「大学院教育の有効性」の指標による評価結果

順位	大 学 名	分 野 別 得 点												平均得点	
		アメリカ研究	古典学	比較文学	英語・英文学	仏語・仏文学	独語・独文学	歴史学	美術学	音楽学	哲学	宗 教 学	西／葡語西／葡文学		演劇・演技研究
1	マサチューセッツ工科大学	—	—	—	—	—	—	—	61	—	61	—	—	—	61.2
2	カリフォルニア大学（バークリー校）	—	62	60	60	60	61	60	60	60	60	—	62	60	60.5
3	クラーク大学	—	—	—	—	—	—	60	—	—	—	—	—	—	60.0
4	ハーバード大学	62	59	60	60	57	60	56	60	63	57	58	—	—	59.2
5	ブランダイズ大学	—	—	—	60	—	—	57	—	60	—	—	—	—	59.1
6	イエール大学	61	59	59	60	58	57	62	62	62	54	61	50	60	58.9
7	プリンストン大学	—	58	60	62	61	47	—	59	58	62	61	60	—	58.8
8	コロンビア大学（ニューヨーク・シティ校）	—	60	—	60	58	55	58	58	59	57	59	60	—	58.4
9	ペンシルバニア州立大学	—	—	60	61	60	43	61	61	—	60	—	60	—	58.3
10	エモリ大学	—	—	51	60	54	—	58	59	—	61	62	60	—	58.2
11	スタンフォード大学	—	59	61	59	57	58	59	60	55	59	63	40	62	57.8
12	ブラウン大学	56	53	60	61	54	—	58	52	59	61	62	59	—	57.7
13	ノートルダム大学	—	—	—	56	—	—	57	—	—	59	58	—	—	57.5
14	シカゴ大学	—	55	60	60	55	55	60	60	55	55	60	—	—	57.5
15	カリフォルニア大学（ロサンゼルス校）	—	60	60	57	55	58	55	58	52	57	—	60	60	57.5
16	ピッツバーグ大学（ピッツバーグ・キャンパス校）	—	—	—	56	60	—	58	61	58	57	—	53	—	57.4
17	コーネル大学	—	59	57	61	60	60	61	50	52	52	—	60	—	57.3
18	ノース・ウエスタン大学	—	—	55	57	58	—	58	—	59	—	—	—	57	57.3
19	デラウェア大学	—	—	—	60	—	—	56	56	—	—	—	—	—	57.2
20	ペンシルバニア大学	—	58	53	59	60	—	61	57	61	56	51	50	—	56.7
21	カーネギー・メロン大学	—	—	—	48	—	—	61	—	—	61	—	—	—	56.7
22	デューク大学	—	58	60	59	60	—	55	41	61	59	61	52	—	56.6
23	ジョンス・ホプキンス大学	—	53	58	58	60	57	59	53	—	54	—	—	—	56.6
24	ベイラー大学	—	—	—	57	—	—	—	—	—	—	—	—	—	56.5
25	テキサス農業・工業大学	—	—	—	57	—	—	56	—	—	—	—	—	—	56.5
26	ベイラー医科大学（ヒューストン校）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	56	—	—	55.7
27	ノース・イースタン大学	—	—	—	46	—	—	61	59	—	—	—	—	—	55.6
28	ツレーイン大学	—	—	—	—	—	—	57	—	—	51	—	58	—	55.6
29	アリゾナ大学	—	—	—	58	—	—	55	—	52	55	—	58	—	55.5
30	マイアミ大学（UM）	—	—	—	60	—	—	44	—	62	58	—	52	—	55.3
31	オクラホマ大学（ノーマン校）	—	—	—	51	—	—	49	—	—	60	—	60	—	55.0
32	プリンマーカレッジ	—	56	—	—	—	—	—	54	—	—	—	—	—	54.9
33	ワシントン州立大学	58	—	—	57	—	—	50	—	—	—	—	—	—	54.9
34	ミシガン大学（アン Arbor 校）	53	58	58	59	59	60	58	56	43	56	—	45	—	54.9
35	ニュー・ハンプシャー大学	—	—	—	56	—	—	53	—	—	—	—	—	—	54.6

36	ルイジアナ州立大学農業・工業カレッジ	-	-	53	56	45	-	52	-	60	-	-	-	60	54.2
37	オハイオ州立大学 (メイン・キャンパス校)	-	57	-	60	59	-	50	36	55	54	-	57	56	54.0
38	フロリダ・アトランティック大学	-	-	-	-	-	-	-	54	-	-	-	-	-	53.7
39	ローチェスター大学	-	-	-	56	-	-	53	-	53	53	-	-	-	53.7
40	テネシー大学	-	-	-	60	-	-	61	-	-	33	-	60	-	53.6
41	カリフォルニア大学 (デービス校)	-	-	60	53	52	-	56	-	52	53	-	54	50	53.6
42	ウィスコンシン大学 (マディソン校)	-	51	51	55	60	55	50	58	51	54	-	55	50	53.5
43	マイアミ大学 (MU)	-	-	-	54	-	-	53	-	-	-	-	-	-	53.5
44	ボストンカレッジ	-	-	-	60	42	-	59	-	-	47	60	52	-	53.4
45	サウス・カロライナ大学 (コロンビア校)	-	-	55	50	-	-	50	-	-	59	-	-	-	53.4
46	ミシシッピ大学	-	-	-	53	-	-	54	-	-	-	-	-	-	53.3
47	ケント州立大学 (メイン・キャンパス校)	-	-	-	48	-	-	-	59	-	-	-	-	-	53.2
48	バンダービルト大学	-	-	-	61	60	-	60	-	-	48	45	44	-	53.1
49	ミシガン州立大学	56	-	-	45	-	-	54	-	55	49	-	59	-	53.0
50	ニューヨーク大学	55	-	52	50	50	51	56	50	50	61	-	60	50	53.0
51	アラバマ大学 (メイン・キャンパス校)	-	-	-	53	-	-	53	-	-	-	-	-	-	53.0
52	ケンタッキー大学	-	-	-	58	-	-	51	-	54	45	-	55	-	52.8
53	アーカンサス大学 (メイン・キャンパス校)	-	-	-	61	-	-	58	-	-	39	-	-	-	52.8
54	ジョージタウン大学	-	-	-	-	-	57	46	-	-	58	-	50	-	52.7
55	ライス大学	-	-	-	56	33	-	59	-	-	55	61	-	-	52.7
56	オレゴン大学	-	-	51	35	-	-	61	-	55	52	-	-	61	52.7
57	メンヒス大学	-	-	-	53	-	-	39	-	58	61	-	-	-	52.7
58	タフツ大学	-	-	-	54	-	-	61	-	-	-	-	-	43	52.5
59	ニューヨーク州立大学 (バッファロー校)	53	38	57	51	-	-	57	-	58	53	-	51	-	52.3
60	テキサス工科大学	-	-	-	61	-	-	-	-	-	-	-	43	-	52.0
61	ニューヨーク州立大学 (ブルックリン健康科学センター)	-	-	-	-	-	-	50	-	-	53	-	-	-	51.9
62	アリゾナ州立大学	-	-	-	54	-	-	54	-	-	-	-	48	-	51.8
63	ウィスコンシン大学 (ミルウォーキー校)	-	-	-	47	-	-	-	57	-	-	-	-	-	51.8
64	ワシントン大学 (セントルイス校)	-	-	58	44	47	56	50	59	32	59	-	58	-	51.4
65	カンザス大学	40	-	-	50	-	45	57	49	-	53	-	59	58	51.3
66	ボーリング・グリーン州立大学	50	-	-	-	-	-	55	-	-	50	-	-	50	51.3
67	カリフォルニア大学 (サンタ・バーバラ校)	-	-	51	35	-	-	52	58	50	53	53	55	52	51.1
68	ロヨラ大学 (シカゴ校)	-	-	-	43	-	-	60	-	-	45	56	-	-	50.8
69	シラキュース大学 (メイン・キャンパス校)	-	-	-	43	-	-	49	-	-	54	57	-	-	50.7
70	ウィリアム・メアリーカレッジ	46	-	-	-	-	-	54	-	-	-	-	-	-	50.3
71	オハイオ大学 (メイン・キャンパス校)	-	-	-	57	-	60	34	-	-	-	-	-	-	50.1
72	コロラド大学 (ボルダー校)	-	-	54	38	59	-	31	-	-	56	-	56	56	50.0
73	ミネソタ大学 (ツイン・シティズ校)	61	37	47	53	43	58	56	51	49	42	-	52	48	49.8
74	南カリフォルニア大学	-	56	49	42	-	-	43	60	37	61	-	-	-	49.8
75	カリフォルニア連合大学	-	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51	49.6
76	フロリダ州立大学	-	-	-	50	-	-	44	-	52	51	40	60	-	49.6
77	オーバーン大学	-	-	-	61	-	-	38	-	-	-	-	-	-	49.6
78	インディアナ大学 (ブルーミントン校)	61	32	58	47	40	60	52	54	54	49	41	44	-	49.3
79	ミズーリ大学 (コロンビア校)	-	32	-	61	-	-	50	50	-	53	-	-	50	49.3
80	ジョージア工科大学	-	-	-	-	-	-	49	-	-	-	-	-	-	49.2
81	バーデュー大学 (メイン・キャンパス校)	33	-	57	54	-	-	61	-	-	34	-	55	-	49.1
82	南メソディスト大学	-	-	-	-	-	-	60	-	-	-	38	-	-	49.0
83	カリフォルニア大学 (リバーサイド校)	-	-	42	59	-	-	38	-	-	60	-	60	35	49.0
84	コネチカット大学	-	-	-	45	60	-	43	-	-	60	-	38	-	48.9
85	イリノイ大学 (シカゴ校)	-	-	-	60	59	35	35	-	-	57	-	46	-	48.7
86	ケーズ・ウェスタン・リザーブ大学	-	-	-	50	-	-	44	50	-	-	-	-	-	48.4
87	テキサス大学 (オースチン校)	33	51	57	60	57	51	39	61	31	52	-	53	35	48.4
88	ユタ大学	-	-	-	60	-	-	36	-	39	59	-	-	-	48.4
89	バージニア大学	-	-	-	60	47	34	54	40	-	37	56	59	-	48.4
90	カリフォルニア大学 (サン・ディエゴ校)	-	-	31	-	-	-	57	-	46	59	-	-	-	48.4
91	アイオワ大学	45	55	41	43	46	-	51	53	58	49	31	60	-	48.3
92	ノース・カロライナ大学 (チャペル・ヒル校)	-	53	43	34	29	48	49	58	47	58	61	49	-	48.2
93	フロリダ大学	-	-	-	51	58	-	34	-	-	57	-	41	-	48.2
94	テキサス大学 (ダラス校)	-	-	-	-	-	-	41	55	-	-	-	-	-	47.9
95	マサチューセッツ大学 (アムハースト校)	58	-	38	55	-	36	55	-	-	53	-	38	-	47.6
96	イリノイ大学 (アーバナシャンペイン校)	-	-	31	55	-	26	57	43	57	57	-	53	-	47.6
97	ノーザン・イリノイ大学	-	-	-	47	-	-	48	-	-	-	-	-	-	47.5
98	南イリノイ大学 (カーボンデール校)	-	-	-	54	-	-	53	-	-	34	-	-	-	47.0
99	ラトガーズ州立大学 (ニュー・ブランズウィック校)	-	-	50	50	41	-	58	36	38	60	-	40	-	46.7
100	シンシナティ大学 (メイン・キャンパス校)	-	58	-	61	-	-	28	-	-	39	-	-	-	46.6
101	アイオワ州立大学	-	-	-	-	-	-	47	-	-	-	-	-	-	46.6
102	ノース・テキサス大学	-	-	-	28	-	-	60	-	51	-	-	-	-	46.1
103	ルイジアナ大学 (ラファイエット校)	-	-	-	50	42	-	-	-	-	-	-	-	-	45.9
104	ニューヨーク州立大学 (ストーニー・ブルック校)	-	-	57	46	-	-	-	50	32	-	-	44	-	45.9

105	ウェスタン・ミシガン大学	-	-	-	45	-	-	46	-	-	-	-	-	-	45.5
106	メリーランド大学 (カレッジ・パーク校)	45	-	29	50	37	56	42	52	39	34	-	50	61	45.0
107	ミシシッピ州立大学	-	-	-	-	-	-	45	-	-	-	-	-	-	45.0
108	ジョージア大学	-	-	30	53	-	-	57	32	-	53	-	-	42	44.3
109	テンブル大学	-	-	-	52	-	-	32	61	46	28	38	53	-	44.2
110	ワシントン大学	-	56	42	43	-	47	50	32	28	36	-	-	61	44.1
111	ノース・ダコタ大学 (メイン・キャンパス校)	-	-	-	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44.0
112	神学連合大学院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44	-	-	44.0
113	リーハイ大学	-	-	-	53	-	-	34	-	-	-	-	-	-	43.7
114	ニュー・メキシコ大学 (メイン・キャンパス校)	40	-	-	32	-	-	33	53	-	-	-	60	-	43.6
115	ルイスビル大学	-	-	-	-	-	-	-	43	-	-	-	-	-	42.7
116	ヒューブルーユニオンカレッジ・ユダヤ教研究所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42	-	-	42.2
117	ハワイ大学 (マノア校)	-	-	-	35	-	-	38	-	60	45	-	-	32	42.0
118	トレド大学	-	-	-	-	-	-	42	-	-	-	-	-	-	41.7
119	カリフォルニア大学 (アービン校)	-	-	37	52	47	-	40	-	-	35	-	40	-	41.6
120	イリノイ工科大学	-	-	-	-	-	-	-	41	-	-	-	-	-	41.4
121	ボストン大学	33	-	-	48	37	-	32	50	41	51	38	41	-	41.3
122	テキサス・クリスチャン大学	-	-	-	37	-	-	45	-	-	-	-	-	-	41.0
123	ハーワード大学	-	-	-	-	-	-	41	-	-	-	-	-	-	40.9
124	サウス・フロリダ大学	-	-	-	29	-	-	-	-	-	53	-	-	-	40.9
125	ウェイン大学	-	-	-	51	-	-	34	-	-	37	-	-	-	40.8
126	ジョージ・ワシントン大学	55	-	-	29	-	-	38	-	-	-	-	-	-	40.7
127	ニューヨーク州立大学 (ビンガムトン校)	-	-	42	40	-	-	45	32	-	44	-	-	-	40.6
128	オクラホマ州立大学 (メイン・キャンパス校)	-	-	-	34	-	-	47	-	-	-	-	-	-	40.6
129	ミズーリ大学 (カンザスシティ校)	-	-	-	45	-	-	-	-	35	-	-	-	-	40.1
130	フォードハム大学	-	-	-	29	-	-	31	-	-	46	50	-	-	39.1
131	ネブラスカ大学 (リンカーン校)	-	-	-	36	-	-	46	-	-	33	-	-	-	38.5
132	カリフォルニア大学 (サンタ・クルス校)	-	-	48	-	-	-	29	-	-	-	-	-	-	38.5
133	ニューヨーク州立大学 (オールバニー校)	-	-	-	53	-	-	42	-	-	30	-	27	-	38.0
134	カンザス州立大学	-	-	-	-	-	-	37	-	-	-	-	-	-	37.4
135	マルケット大学	-	-	-	30	-	-	43	-	-	30	46	-	-	37.3
136	サザン・ミシシッピ大学	-	-	-	34	-	-	40	-	-	-	-	-	-	37.1
137	アメリカン・カトリック大学	-	-	-	38	-	-	29	-	32	33	47	-	-	35.9
138	アイダホ大学	35	-	-	-	-	-	36	-	-	-	-	-	-	35.7
139	フロリダ国際大学	-	-	-	-	-	-	44	-	-	-	-	27	-	35.4
140	アメリカン大学	-	-	-	-	-	-	35	-	-	-	-	-	-	35.1
141	ネバダ大学 (リノ校)	-	-	-	35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34.9
142	ジョージア州立大学	-	-	-	34	-	-	35	-	-	-	-	-	-	34.7
143	クレアモント大学院大学	-	-	-	30	-	-	31	-	-	29	31	-	-	30.0
144	ダラス大学	-	-	-	30	-	-	-	-	-	30	-	-	-	29.8
145	ドリュー大学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	-	-	29.6
146	ニューヨーク市立大学 (グランド・センター校)	-	-	29	33	32	-	29	26	34	28	-	24	29	29.3
147	ヒューストン大学	-	-	-	33	-	-	-	-	-	-	-	26	-	29.2
148	バージニア・コモンウェルス大学	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	-	-	28.6

V. 要約と課題

本稿では2010年に刊行された『アメリカにおける研究博士プログラムのデータベース評価』の調査結果の研究能力を示す評価指標である「教授陣の質」と教育能力を示す評価指標である「大学院教育の有効性」を再解析してアメリカ大学院の人文科学系領域の序列化を試みた。

大学毎の「教授陣の質」を使用した分析結果をみるとマサチューセッツ工科大学、シカゴ大学、ハーバード大学、ニューヨーク大学、ローチェスター大学、カーネギー・メロン大学、ペンシルベニア大学、プリンストン大学、ベイラー医科大学（ヒューストン校）、コロンビア大学（ニューヨーク・シティ校）が上位にランクされていた。また「大学院教育の有効性」を使用した分析結果をみるとマサチューセッツ工科大学、カリフォルニア大学（パークリー校）、クラーク大学、ハーバード大学、ブランダイズ大学、イエール大学、プリンストン大学、コロンビア大学（ニューヨーク・シティ校）、ペンシルベニア州立大学、エモリ大学が上位にランクされていた。

た。

専門分野毎に「教授陣の質」を使用した分析結果をみると、アメリカ研究、英語・英文学の分野ではハーバード大学が、古典学、美術史の分野ではコロンビア大学（ニューヨーク・シテイ校）が、比較文学、独語・独文学、歴史学、音楽学、宗教学の分野ではシカゴ大学が、仏語・仏文学の分野ではペンシルベニア大学とスタンフォード大学が、哲学の分野ではプリンストン大学が、西／葡語・西／葡文学の分野ではスタンフォード大学が、演劇・演技研究の分野ではニューヨーク大学が、それぞれ第1位を占めていた。「大学院教育の有効性」を使用した分析結果をみるとアメリカ研究、音楽学の分野ではハーバード大学が、古典学、独語・独文学、西／葡語・西／葡文学の分野ではカリフォルニア大学（バークリー校）が、比較文学、宗教学、演劇・演技研究の分野ではスタンフォード大学が、英語・英文学、仏語・仏文学、哲学の分野ではプリンストン大学が、歴史学、美術史の分野ではイエール大学が、それぞれ第1位を占めていた。

最後に残された課題について簡単に触れておこう。本稿では、評価指標として「教授陣の質」と「大学院教育の有効性」を使用してアメリカ大学院の人文科学系領域の評価を試みたが、「教授陣の質」と「大学院教育の有効性」の指標の有用性や妥当性についてさらなる検討が必要であろう。また本研究は非常に限られた資料に基づいて、アメリカ大学院の人文科学系領域の評価を考察したが、この課題をあきらかにするには、さらに体系的に資料を収集して分析する必要があるだろう。

注

- 1) 文部科学省、『新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて——生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ——』、中央教育審議会答申 pp. 1-26, (2012)。
- 2) Hughes, R.M., *A study of the Graduate Schools in America*, Miami University Press, (1925)。
- 3) Cartter, A.M., *An Assessment of Quality in Graduate Education*, American Council on Education, (1966)。
- 4) Roose, K.D. and Anderson, C.J., *A Rating of Graduate Program*, American Council on Education, (1970)。
- 5) Margulies, R.Z. and Blau, P., “America’s Leading Professional Schools.” *Change* 5.1973.21-27; Blau, P. and Margulies, R.Z., “The Reputations of American Professional Schools.” *Change* 6, 42-47, (1974-75)。
- 6) Jones, Lyle V., ED.; And Others; *An Assessment of Research-Doctorate Programs in the United States: Vol. 1. ~5.* National Academy Press (1982)。この資料に関する詳細および統計的再解析結果については、奥川義尚「大学の評価研究——アメリカにおける大学院の場合－1－」『COSMICA 地域研究』17号、京都外国語大学, pp. 1-33. (1987)。奥川義尚「大学の評価研究——アメリカにおける大学院の場合－2－」『COSMICA 地域研究』18号、京都外国語大学, pp. 1-32. (1988)。奥川義尚「大学の評価研究——アメリカにおける大学院の場合－3－」『COSMICA 地域研究』21号、京都外国語大学, pp. 95-104. (1991)。奥川義尚「大学の評価研究——アメリカにおける大学院の場合－4－」『COSMICA 地域研究』22号、京都外国語大学, pp. 137-144. (1992)。奥川義尚「大学の評価研究——アメリカにおける大学院の場合－5－」『研究論叢』41号、京都外国語大学, pp. 426-434. (1993), などを参照のこと。

- 7) Goldberger, M.L., Maher, B.A., and Flattau, P.E. (eds.). *Research-Doctorate Programs in the United States. Continuity and Change*. National Academy Press (1995)。この資料に関する詳細および統計的再解析結果については、奥川義尚「「大学院教育の有効性」からみたアメリカにおける研究博士プログラム評価」『COSMICA 地域研究』26号、京都外国語大学、pp. 75-89。 (1997)。奥川義尚「大学評価の研究 — アメリカにおける大学院の場合 —」『関西教育学会紀要』第21号、関西教育学会、pp. 136-140。 (1997)。奥川義尚「「教授陣の質」からみたアメリカにおける研究博士プログラム評価」『研究論叢』49号、京都外国語大学、pp. 309-319。 (1997)。奥川義尚「「教授陣の質」と「大学院教育の有効性」の両指標の総合によるアメリカにおける研究博士プログラム評価」『COSMICA 地域研究』27号、京都外国語大学、pp. 69-82。 (1998)。奥川義尚「現代アメリカ大学院における専門分野別研究博士プログラム評価（その1） — 人文科学系領域の場合 —」『研究論叢』51号、京都外国語大学、pp. 341-355。 (1998)。奥川義尚「現代アメリカ大学院における専門分野別研究博士プログラム評価（その2） — 生物科学系領域の場合 —」『研究論叢』52号、京都外国語大学、pp. 341-355。 (1999)。奥川義尚「現代アメリカ大学院における専門分野別研究博士プログラム評価（その3） — 工学系領域の場合 —」『研究論叢』53号、京都外国語大学、pp. 169-183。 (1999)。奥川義尚「現代アメリカ大学院における専門分野別研究博士プログラム評価（その4） — 数学・物理学系領域の場合 —」『研究論叢』54号、京都外国語大学、pp. 193-210。 (1999)。奥川義尚「現代アメリカ大学院における専門分野別研究博士プログラム評価（その5） — 社会・行動科学系領域の場合 —」『研究論叢』55号、京都外国語大学、pp. 201-219。 (2000)。などを参照のこと。
- 8) Jones, Lyle V., ED.; And Others; *An Assessment of Research-Doctorate Programs in the United States: Vol. 1. ~5*. National Academy Press. (1982) および Goldberger, M.L., Maher, B.A., and Flattau, P.E. (eds.). *Research-Doctorate Programs in the United States. Continuity and Change*. National Academy Press. (1995)。この両資料を使用した時系的評価結果については、奥川義尚「現代アメリカ大学院研究博士プログラム評価の時系的分析（その1） — 「大学院教育の有効性」の指標による分析結果 —」『研究論叢』56号、京都外国語大学、pp. 163-181。 (2001)。奥川義尚「現代アメリカ大学院研究博士プログラム評価の時系的分析（その2） — 「教授陣の質」の指標による分析結果 —」『研究論叢』57号、京都外国語大学、pp. 129-150。 (2001)。奥川義尚「現代アメリカ大学院研究博士プログラム人文科学系領域評価の時系的分析（その1） — 「大学院教育の有効性」の指標による分析結果 —」『研究論叢』58号、京都外国語大学、pp. 129-150。 (2002)。奥川義尚「現代アメリカ大学院研究博士プログラム人文科学系領域評価の時系的分析（その2） — 「教授陣の質」の指標による分析結果 —」『研究論叢』59号、京都外国語大学、pp. 247-260。 (2002)。奥川義尚「現代アメリカ大学院研究博士プログラム生物科学系領域評価の時系的分析（その1） — 「大学院教育の有効性」の指標による分析結果 —」『研究論叢』60号、京都外国語大学、pp. 193-207。 (2003)。奥川義尚「現代アメリカ大学院研究博士プログラム生物科学系領域評価の時系的分析（その2） — 「教授陣の質」の指標による分析結果 —」『研究論叢』61号、京都外国語大学、pp. 101-116。 (2003)。奥川義尚「現代アメリカ大学院研究博士プログラム工学系領域評価の時系的分析（その1） — 「大学院教育の有効性」の指標による分析結果 —」『研究論叢』62号、京都外国語大学、pp. 83-97。 (2004)。奥川義尚「現代アメリカ大学院研究博士プログラム工学系領域評価の時系的分析（その2） — 「教授陣の質」の指標による分析結果 —」『研究論叢』63号、京都外国語大学、pp. 91-106。 (2004)。奥川義尚「現代アメリカ大学院研究博士プログラム数学・物理学系領域評価の時系的分析（その1） — 「大学院教育の有効性」の指標による分析結果 —」『研究論叢』64号、京都外国語大学、pp. 167-185。 (2005)。奥川義尚「現代アメリカ大学院研究博士プログラム数学・物理学系領域評価の時系的分析（その2） — 「教授陣の質」の指標による分析結果 —」『研究論叢』65号、京都外国語大学、pp. 149-168。 (2005)。

奥川義尚「現代アメリカ大学院研究博士プログラム社会・行動科学系領域評価の時系的分析（その1）——「大学院教育の有効性」の指標による分析結果」——『研究論叢』66号、京都外国語大学、pp.165-183.（2006）。奥川義尚「現代アメリカ大学院研究博士プログラム社会・行動科学系領域評価の時系的分析（その2）——「教授陣の質」の指標による分析結果」——『研究論叢』67号、京都外国語大学、pp.201-220.（2006）、などを参照のこと。

- 9) 大学教授陣の特質を示す指標群は、（教授1人当たりの著書の数、論文引用数（人文科学系を除く）、外部資金を獲得した教授陣の割合、学際的研究への関与、教授陣の人種的・民族的多様性、教授陣の男女比率、学術的褒賞や名声による教授陣の評価）の7つによって構成されている。
- 10) 大学院生の特質を示す指標群は、（新入学生のGREの平均得点、全学財政的支援を受けた学生の割合、外部資金を受けた学生の割合、学生の著書や学会発表数、在籍学生の人種的・民族的多様性、在籍学生の男女比率、留学生の受け入れ）の7つによって構成されている。
- 11) 大学院教育の有効性を示す指標群は、（過去5年間の博士号取得者の平均人数、期間内に博士課程を修了した学生数（人文科学系以外は6年、人文科学系は8年）、学位取得年数、修了後の就職（アカデミックな分野での就職または博士課程取得後の特別奨学金受給者）、個人研究室のある学生の割合、大学等による健康保険料受給者の割合、大学等による学生支援受給者数）7つによって構成されている。

引用・参考文献

- Jones, Lyle V. and Others (eds.) An Assessment of Research-doctorate Programs in the United States: Vol. 1-5, National Academy Press. (1982)
- 江原武一・奥川義尚「アメリカにおける大学院の学問的生産性とその規定条件」『大学研究ノート』No.66, 広島大学 大学教育研究センター, pp. 57-68. (1986)
- 奥川義尚「現代アメリカ大学院のアカデミック・プロダクティビティに関する統計的分析」『教育学研究』第54巻第2号, 日本教育学会, pp. 22-33. (1987)
- 奥川義尚「現代アメリカ大学院の学問的生産性に関する統計的分析」『大学論集』第19集, 広島大学 大学教育研究センター, pp. 213-233. (1989)
- 江原武一・奥川義尚『アメリカの大学評価 大学院教育の専門分野別評価を中心に』（『高等教育研究叢書』第19号）, 広島大学 大学教育研究センター, (1992)
- 奥川義尚・江原武一「研究大学の学問的生産性の評価と規定条件」有本章編『「学問中心地」の研究』東信堂, pp. 243-266. (1994)
- 江原武一「大学院の生産性」江原武一『大学のアメリカ・モデル——アメリカの経験と日本』玉川大学出版部, pp. 177-204. (1994)
- Goldberger, M.L., Maher, B.A., and Flattau, P.E (eds.). Research-Doctorate Programs in the United States: Continuity and Change, National Academy Press. (1995)
- 奥川義尚・江原武一「調査資料——アメリカにおける研究博士プログラム（1995年の概略）桑原敏明『大学評価に関する総合的研究』筑波大学, pp. 1-9. (1996)
- 奥川義尚・江原武一・巳波義典『現代アメリカの大学院教育の専門分野別評価——1993年調査を中心にして』京都外国語大学国際言語平和研究所, pp. 1-104. (1997)
- 奥川義尚「アメリカの大学院——アメリカの大学院の事例研究」江原武一・馬越徹編著『大学院の改革』（講座「21世紀の大学・高等教育を考える」第4巻）東信堂, pp. 183-200. (2004)
- Jeremiah P. Ostriker, Charlotte V. Kuh, and James A. Voytuk (eds.). A Data- Based Assessment of Research-Doctorate Programs in the United States, National Academy Press. (2010)
- 国際シンポジウム「大学院教育の実質化——工学分野における世界の取り組みを例に考える——」

- 関連資料，企画・事務局（東工大博士一貫コース事務局），（2011）
- 奥川義尚・江原武一・村上正行『現代アメリカの大学院教育の専門分野別評価——2006年調査を中心にして』京都外国語大学点検評価調査室，pp. 1-174.（2011）
- 奥川義尚「現代アメリカ大学院の評価研究，「大学院評価」指標による分析結果（その1）——農学科学系領域と生物・健康科学系領域の場合——」，『研究論叢』第78号，京都外国語大学，pp. 1-13.（2012）
- 奥川義尚「現代アメリカ大学院研究博士プログラム人文科学系領域評価の時系的分析，1982年度調査と2006年度調査を中心として（その1）——「大学院教育の有効性」の指標による分析結果——」，『PROBLEMATA』第21号，京都外国語大学，pp. 22-34.（2012）
- 奥川義尚「現代アメリカ大学院の評価研究，「大学院評価」指標による分析結果（その2）——工学系領域と人文科学系領域の場合——」，『研究論叢』第79号，京都外国語大学，pp. 23-35.（2012）
- 奥川義尚「現代アメリカ大学院の評価研究，「大学院評価」指標による分析結果（その3）——物理学・数学系と社会・行動科学系領域の場合——」，『研究論叢』第80号，京都外国語大学，pp. 1-14.（2012）
- 奥川義尚「現代アメリカ大学院研究博士プログラム人文科学系領域評価の時系的分析，1982年度調査と2006年度調査を中心として（その2）——「教授陣の質」の指標による分析結果——」，『PROBLEMATA』第22号，京都外国語大学，pp. 1-15.（2013）
- 奥川義尚「現代アメリカ大学院の評価研究，「大学院評価」指標による分析結果（その4）」，『研究論叢』第81号，京都外国語大学，pp. 23-34.（2013）
- 奥川義尚「現代アメリカ大学院の評価研究，「教授陣の質」と「大学院教育の有効性」の指標による分析結果（その1）——農業科学系領域の場合——」，『研究論叢』第82号，京都外国語大学，pp. 1-11.（2014）
- 奥川義尚「現代アメリカ大学院研究博士プログラム社会科学系領域評価の時系的分析，1982年度調査と2006年度調査を中心として（その1）——「大学院教育の有効性」の指標による分析結果——」，『PROBLEMATA』第23号，京都外国語大学，pp. 1-15.（2014）
- 奥川義尚「現代アメリカ大学院の評価研究，「教授陣の質」と「大学院教育の有効性」の指標による分析結果（その2）——生物学・健康科学系領域の場合——」，『研究論叢』第83号，京都外国語大学，pp. 25-39.（2014）
- 奥川義尚「現代アメリカ大学院の評価研究，「教授陣の質」と「大学院教育の有効性」の指標による分析結果（その3）——社会行動科学系領域の場合——」，『研究論叢』第84号，京都外国語大学，pp. 1-15.（2015）
- 奥川義尚「現代アメリカ大学院研究博士プログラム社会科学系領域評価の時系的分析，1982年度調査と2006年度調査を中心として（その2）——「教授陣の質」の指標による分析結果——」，『PROBLEMATA』第24号，京都外国語大学，pp. 1-15.（2015）

